



注意事項と制約事項

- [注意事項と制約事項 \(1 ページ\)](#)

注意事項と制約事項

ガイドライン

HyperFlex ストレッチ クラスタを作成する時に以下のガイドラインを考慮してください。

- 各サイトに最低 2 つのノードが必要です。
- 各サイトに冗長ファブリック インターコネクト設定が必要です。
- 各サイトで最小 2 個から最大 8 個のコンバージド ノードがサポートされます。
- 両方のサイト間で対称クラスタ設定が必要です。ノードの数と HX ノードのモデルは、両方のサイトで同じである必要があります。
- VM を作成する前に HA と DRS を有効にすると、すべての VM は、適切なサイトに配置されます。最初に VM を作成し HA と DRS を有効にすると、VM が適切に配置されない可能性があります

制限事項

- SED はサポートされていません。
- コンピューティング専用ノードはサポートされていません。
- ストレッチ クラスタ Hyper-V プラットフォーム ではサポートされていません
- HX ネイティブ レプリケーションはサポートされていません。
- ストレッチクラスタに対して既存のクラスタのクラスタ展開はサポートされていません。
- オンライン ローリング アップグレードは HXDP でのみサポートされます。UCSM アップグレードは、手動で同時に 1 つのノードで実行される必要があります。

- ストレッチ クラスタは新規インストールのみサポートしています。スタンドアロン クラスタからストレッチ クラスタ設定へのアップグレードはサポートされていません。
- ストレッチ クラスタは M5 ノードでのみでサポートされます。M4/M5 混合クラスタはサポートされていません。